

## 第 14 回大気化学討論会プログラム

会期：2008 年 10 月 29 日（水）～31 日（金）

会場：海洋研究開発機構・横浜研究所 三好記念講堂

（〒236-0001 横浜市金沢区昭和町 3173-25）

### 受付時間について

- ◎ 初日 10 月 29 日は、昼 12:00 より受付を開始します。

### 口頭発表について

- ◎ 口頭発表の 1 件あたりの講演時間は以下の通りです。  
ショート： 1 5 分（発表 1 0 分＋質疑応答 5 分）  
ロング： 2 5 分（発表 1 8 分＋質疑応答 7 分）  
（※特別セッションのうち、それ以外の時間の方はコンビーナにご確認ください）
- ◎ 口頭発表（ショートおよびロング）につきましては、PC プロジェクターが使用できます。（OHP の使用はできません）
- ◎ PC プロジェクター使用に関する注意
  - ・ ノートパソコンは発表者各自でご用意下さい。
  - ・ 事情によりパソコンを持参できない場合は、事前に実行委員会にご連絡いただき、Power point ファイルをコピーした USB メモリをご持参ください。会場設置のパソコンにファイルをコピーして使用致します。ただし、OS やバージョンの違いなどによる不具合については対応できない場合があります。
  - ・ 突然の故障や接続の際のトラブルに備え、USB メモリ等に発表書類のコピーを持参していただくことをお勧めします。（接続・表示にトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順を繰り下げていただくことがあります）
  - ・ 発表前の休憩時間などに必ず接続をお確かめ下さい。

### ポスター発表について

- ◎ ポスターは 1 日目（10 月 29 日） 昼 12:00～3 日目（10 月 31 日） 15:30 まで掲示することができます。
- ◎ 掲示終了後のポスターはお持ち帰り下さい。討論会終了後に残ったポスターは実行委員会で処分させていただきます。
- ◎ ポスターボードの掲示可能スペースは、幅 830×高さ 1680mm です。基本 A0 縦でお願いします。
- ◎ ポスター固定のために必要な物品はこちらで用意します。

コアタイム 1：第 1 日目(10 月 29 日)

16:30-17:30 奇数番号を中心に説明

17:30-18:30 偶数番号を中心に説明

コアタイム 2：第 2 日目(10 月 30 日)

14:45-15:35 奇数番号を中心に説明

15:35-16:25 偶数番号を中心に説明

※2 日間のコアタイムのうち 1 日しか参加できない場合には、その日に発表を行ってください。その場合、奇数偶数に関わらず、説明の時間をできるだけ長く取るなどの対応をお願いします。

1日目 10月29日(水)

## 口頭発表

時間	講演 時間	番号	講演者	タイトル	ページ
13:00-13:15	15		挨拶・実行委員会からの連絡		
陸面・気体 (座長： 笹川基樹)					
13:15-13:30	15	K-1	○角皆潤, 小松大祐, 代田里子, 中川書子 (北大院理), 張勁 (富山大理工)	森林生態系における沈着窒素の利用効率	1
13:30-13:45	15	K-2	○米村正一郎1、山田恵子2、岸本文紅1、北和之2 (1 農業環境技術研究所、2 茨城大学)	土壌による水素の吸収：温度および水分依存性	2
13:45-14:00	15	K-3	○稲富素子1, 伊藤昭彦1,2 (1FRCGC, 2環境研)	陸域生態系モデルVISITによるグローバル推定：メタン収支	3
14:00-14:15	15	K-4	○伊藤昭彦1,2, 稲富素子2(1環境研, 2FRCGC)	陸域生態系モデルVISITによるグローバル推定：微量ガス収支	4
14:15-14:30	15		休憩		
エアロゾル(BC・OC・分布)-1 (座長： 原圭一郎)					
14:30-14:55	25	K-5	○近藤豊, L..Safu, 茂木信宏, 竹川暢之, 桑田幹哲, 白岩学, 韓盛喜 (東大先端研), 宮崎雄三 (北大低温研), 井丸准一, 福嶋信彦, 加野稔 (日本カノマックス)	東アジアにおけるブラックカーボン (BC)	5
14:55-15:10	15	K-6	○畠山史郎1, 花岡小百合1, 新垣雄光3, 渡邊泉1, 清水厚2, 高見昭憲2 (1農工大、2環境研、3琉球大)	2008年春季東シナ海上空での航空機観測によるオゾン、SO <sub>2</sub> 、エアロゾル化学成分	6
15:10-15:25	15	K-7	○川名華織, 近藤豊, 竹川暢之, 大島長 (東大先端研), 加藤俊吾, 梶井克純 (首都大), 畠山史郎, 花岡小百合 (農工大), 高見昭憲, 清水厚 (環境研)	航空機および地上観測によるブラックカーボン濃度の測定	7
15:25-15:40	15		休憩		
エアロゾル(特性・組成)-1 (座長： 廣川 淳)					
15:40-15:55	15	K-8	○原圭一郎1, 長田和雄2, 矢吹正教3, 橋田元4, 西田千春5, 山内恭4, 林政彦1 (1:福岡大・理、2:名大院・環境学、3:千葉大、4:極地研、5:名大)	南極での海塩成分組成分別過程：季節変化と分布	8
15:55-16:10	15	K-9	○直江寛明 (気象研), 長田和雄 (名古屋大)	遠洋大気中における海塩粒子と低濃度SO <sub>2</sub> について	9
16:10-16:25	15	K-10	川之上太志, 池田 修一, ○原野 安土 (群大院)	混合無機エアロゾルの潮解・固化特性	10
16:25-16:30	5		休憩		
ポスターセッション1					
16:30-17:30	60		ポスター:奇数番号		
17:30-18:30	60		ポスター:偶数番号		
18:30-19:45			運営委員会		

2日目 10月30日(木)

## 口頭発表

09:00-09:10	10		○笠井康子, ○秋元肇	特別セッション 趣旨説明, OverView	
-------------	----	--	-------------	------------------------	--

## 特別セッション1(SMILES: 成層圏化学と衛星観測) (座長: 笠井康子)

09:10-09:20	10	K-11S	○塩谷雅人 (京大・生存研), 高柳昌弘 (ISAS/JAXA), SMILESミッションチーム	きぼう曝露部搭載用超伝導サブミリ波リム放射サウンダ(JEM/SMILES)のプロジェクト概況	11
09:20-09:35	15	K-12S	○西堀俊幸, 菊池健一 (JAXA), 落合啓 (情報通信研究機構), 塩谷雅人 (京大), SMILESミッションチーム	SMILESの総合性能確認と打ち上げまでの道のり	12
09:35-09:50	15	K-13S	○小池真1, 塩谷雅人2, SMILESサイエンスチーム (1東大 2京大)	SMILESでめざすサイエンス	13
09:50-10:05	15	K-14S	○J. Urban1, M. Pommier1, D.P. Murtagh1, S. Brohede1, M. Santee2, and Y. Orsolini3 (1Chalmers U of Tech, 2JPL, 3Norwegian Inst for Air Res)	Global trace gas observations with the Odin satellite: Climatology of stratospheric nitric acid	14

10:05-10:15 10

休憩

## 特別セッション2(静止衛星計画: 対流圏化学と衛星観測) (座長: 北和之)

10:15-10:30	15	K-15S	秋元肇, 林田佐智子, 北和之, ○笠井康子, 入江仁士, 金谷有剛, 宮崎和幸, 鷲和俊, P. Baron, 今須良一, E.. Dupuy, J. Mendrok, 齋藤尚子, 野口克行, 滝川雅之, 小池真, 近藤豊, 大気化学研究会大気環境観測衛星検討会 (JAMSTEC, 奈良女子大, 情報通信研究機構, 茨城大, 東大)	静止大気環境衛星	15
10:30-10:40	10	K-16S	○入江仁士, 岩淵弘信 (FRCGC/JAMSTEC), E. Dupuy (NICT), 山本泰志 (JAXA)	静止大気環境衛星による大気汚染物質の観測 — 紫外可視域のシミュレーション —	16
10:40-10:50	10	K-17S	○K. Sagi, P. Baron, Y. Kasai, K. Kita, R. Imasu, S. Hayashida, N. Saitoh, K. Noguchi, E. Dupuy, and J. Mendrok (Ibaraki U, NICT, CCSR, Nara Women's U)	Simulations for observation of tropospheric pollutants using infrared spectroscopy from geostationary orbit	17-18
10:50-11:00	10	K-18S	○P. Baron, E. Dupuy, Y. Kasai, J. Mendrok and S. Ochiai (NICT)	Simulation studies for the definition of a Microwave spectrometer onboard a geostationary satellite: application to weather and pollution missions	19
11:00-11:15	15	K-19S	○宮崎和幸1, 須藤健悟1,2 (1FRCGC, 2名大)	大気化学衛星観測データの利用に向けた大気微量成分データ同化システムの構築	20
11:15-11:30	15	K-20S	○関山剛 (気象研), 田中泰宙 (気象研), 三好建正 (気象庁)	4次元アンサンブル・カルマン・フィルタを用いたCALIPSOエアロゾル観測のデータ同化	21
11:30-11:45	15	K-21S	○谷本浩志, 佐藤啓市 (環境研), Tim Butler, Mark G. Lawrence (マックスプランク研究所), 金谷有剛 (海洋研究開発機構), 加藤俊吾 (首都大学東京), 奥田知明, 田中茂 (慶応義塾大学), Zeng Jiye (環境研), Jenny Fisher, Monika Kopacz, Bob Yantosca (ハーバード大学)	AIRS衛星センサーによって捉えられた一酸化炭素ブルームの長距離輸送とその全球化学輸送モデル解析: シベリア森林火災とアジア人為汚染のケース	22

11:45-11:55 10

特別セッション総合討論 (座長: 秋元肇)

11:55-13:45 110 お昼

特別セッション3(GOSAT: 炭素循環と衛星観測) (座長: 村山昌平)					
13:45-14:00	15	K-22S	○久世暁彦, 須藤洋志, 中島正勝, 浜崎敬 (宇宙航空研究開発機構 GOSAT プロジェクト)	GOSAT衛星搭載TANSOによる温室効果ガス観測と打上げ前評価結果	23
14:00-14:15	15	K-23S	○齋藤 尚子1、今須 良一1、太田 芳文2、丹羽 洋介1 (1東大気候システム研究センター、2国立環境研究所)	GOSAT/TANSO-FTS TIR CO2鉛直プロファイル データ導出精度	24
14:15-14:30	15	K-24S	○今須良一, 丹羽洋介, 齋藤尚子 (東京大学気候システム研究センター)	GOSAT/TANSO-FTSによる対流圏下層CO2濃度推定方法	25
14:30-14:45	15	K-25S	○川上修司, 塩見慶(JAXA/EORC), 見富恭, 片岡文恵(RESTEC)	GOSAT/TANSO-FTS熱赤外バンドを用いたオゾン導出の検討	26

ポスターセッション2					
14:45-15:35	50		ポスター:奇数番号		
15:35-16:25	50		ポスター:偶数番号		

16:25-16:30 5 休憩

温室効果気体 (座長: 下山宏)					
16:30-16:45	15	K-26	○井出智幸1、金田昌廣2、鳥山哲司2、杉田明宏3、石原裕己4、宮崎芳郎4、中山智喜2、 松見豊2、川崎昌博4、井上元5 (1名大院理、2名大太陽研、3矢崎総業、4京大院工、5総合地球研)	気球搭載用CO2計測モジュールの開発	27
16:45-17:00	15	K-27	○伊藤恒太, 森泉純, 山澤弘実, 飯田孝夫 (名大・院・工)	安定炭素同位体比を用いた森林内CO2フラックスの定量評価	28
17:00-17:15	15	K-28	○松枝秀和 (気象研), 町田敏暢 (国環研), 澤庸介 (気象研)	定期航空機観測による上空の温室効果気体の濃度変動	29
17:15-17:30	15	K-29	○遠嶋康徳1、向井人史1、Prabir K. Patra2、橋本茂1 (1 国立環境研究所、2 地球フロンティア)	波照間島・落石岬におけるCO2とCH4のシノプティックスケールの変動に関する研究	30
17:30-17:45	15	K-30	○眞木貴史, 藤田建, 池上雅明, 平原隆寿, 竹内綾子 (気象庁地球環境・海洋部)	温室効果ガス監視情報の提供開始について	31

招待講演					
17:45-18:10	25	K-31	○M.M. Sarin (PRL)	Atmospheric carbonaceous species (OC, EC) over Indian region: Sources, temporal variability and OC/EC ratios	32

18:10-18:15 5 休憩

18:15-19:00 45 大気化学研究会 会員総会・授賞式

19:00-21:00 120 懇親会

3日目 10月31日(金)

## 口頭発表

気体(観測・モデル) (座長： 林寛生)						
09:00-09:15	15	K-32	○香川晶子(FIP), 笠井 康子(NICT), N. Jones(Univ. of Wollongong), 村山泰啓(NICT), F. Murcray(Univ. of Denver)	地上FTSで観測したアラスカ上空の成層圏オゾン・HNO <sub>3</sub> ・HCl・HFの誤差評価と季節変動	33	
09:15-09:30	15	K-33	○菅原敏1、石戸谷重之2、青木周司2、中澤高清2 (1宮城教育大、2 東北大)	成層圏大気中の微量成分に対する重力分離の影響の評価	34	
09:30-09:45	15	K-34	○川岸諒子, 林田佐智子, 野口克行 (奈良女子大学・理)	オゾンゾンデと衛星観測から得られた対流圏オゾンの解析—高度分布に着目した解析—	35	
09:45-10:00	15	K-35	○宮尾優香1, 井出智幸1, 中山智喜1, J. Pearce1,2, 松見豊1, 井澤博之3 (1名大、2JSPS、3トヨタ自動車)	高速応答のNO <sub>2</sub> , NO, O <sub>3</sub> 計測装置の開発と沿道計測への応用	36	
10:00-10:15	15	K-36	○永島達也1, 3、須藤健悟2, 3、秋元肇3 (1環境研、2名大、3地フ口)	東アジア地域の対流圏オゾンに関する発生源別寄与率評価	37	

10:15-10:30 15 休憩

エアロゾル(特性・組成)-2 (座長： 荻下彰啓)						
10:30-10:45	15	K-37	○宮崎 雄三 (北大低温研), 近藤 豊, 白岩 学, 竹川 暢之, 韓 盛喜 (東大先端研) 北 和之 (茨城大), M. Hu, Z. Q. Deng (北京大), D. R. Blake (UCI), R. J. Weber (Georgia Tech)	夏季の中国・広州郊外における水溶性有機エアロゾルの化学特性と変動要因	38	
10:45-11:00	15	K-38	○河村公隆1, M. Lazaar1,2 (1北大, 2ENSCR)	海洋大気中の低分子ジカルボン酸の粒径分布：2008年春の沖縄辺戸岬におけるエアロゾル観測	39	
11:00-11:15	15	K-39	○持田陸宏1, 西田千春1, S.G.Aggarwal2, 北森康之3, 河村公隆2, 三浦和彦4, 高見昭憲5, 畠山史郎6 (1名大高等研究院, 2北大低温研, 3北大地球環境, 4東京理科大, 5環境研, 6東京農工大)	エアロゾル粒子の吸湿成長因子の変動から雲凝結核能力を理解する試み：沖縄における観測例	40	
11:15-11:30	15	K-40	○高島久洋1・入江仁士1・金谷有剛1・清水厚2・青木一真3・秋元肇1(1地フ口, 2環境研, 3富山大学)	沖縄県辺戸岬における MAX-DOAS エアロゾル連続観測	41	
11:30-11:45	15	K-41	○青木一真 (富山大学大学院理工学研究部), 高橋亜弓(富山大学理学部地球科学科), 朴木英治 (富山市科学博物館)	立山・室堂平における積雪断面調査から得られた積雪層の化学分析とエアロゾルの光学的特性との関係	42	

11:45-13:15 90 お昼

エアロゾル(BC・OC・分布)-2 (座長： 青木一真)						
13:15-13:30	15	K-42	○L..K. Sahu, Y. Kondo, Y. Miyazaki, M. Kuwata, M. Koike, N. Takegawa, H. Tanimoto, H. Matsueda, S.C. Yoon, and Y. J. Kim (東大先端研、北大、東大理、環境研、気象研、Seoul National U, GIST)	Anthropogenic aerosols observed in Asian continental outflow at Jeju Island, Korea, in spring 2005	43	

13:30-13:45	15	K-43	○R.L..Verma, Y. Kondo, N. Takegawa, L. Sahu, Y.J. Kim, D.G. Streets, S. Fan, and N. Sugimoto (東大先端研、GIST, Argonne National Lab, Sun Yat-sen U, 環境研)	Temporal variation of elemental carbon during summer 2006 in Guangzhou, China	44
13:45-14:00	15	K-44	○大島 長 (東大先端研)、小池 真 (東大院理)	ブラックカーボンの被覆過程を表現したパラメタリゼーションの開発	45

14:00-14:15 15 休憩

大気質・VOCs (座長： 定永靖宗)					
14:15-14:40	25	K-45	○梶井克純 (首都大学東京)	都市大気のOHラジカル反応性計測と大気質の診断	46
14:40-14:55	15	K-46	○スタワリー ジーナット1, 加藤俊吾1, 友寄喜貴2, 与儀和夫2, 高見昭憲3, 畠山史郎4, 梶井克純1(1首都大学東京, 2沖縄県衛生研, 3環境研, 4東京農工大学)	Long-term observation of VOCs concentrations at Cape Hedo, Okinawa	47
14:55-15:10	15	K-47	○猪俣敏1, 谷本浩志1, R.S. Blake2, M. Patel2, P.S. Monks2, A.M. Millis2 (1 国環研, 2 レスター大学)	異性体区別のための二段式PTR-TOFMSの開発：アルデヒドとケトンのケース	48
15:10-15:25	15	K-48	○青木伸行1, 猪俣敏2, 谷本浩志2, R.S. Blake3, P.S. Monks3, A.M. Ellis3 (1 産総研計測標準, 2 国立環境研究所, 3 レスター大学)	二段式PTR-TOFMSを用いた陽子親和力の決定と量子化学計算との比較	49

15:25-15:40 15 閉会・挨拶

ポスター発表 (掲示可能時間: 1日目 (10月29日) 昼12:00~3日目 (10月31日) 15:30まで)

番号	講演者	タイトル	ページ
<b>「廊下: 特別セッション、静止衛星、SMILES」</b>			
P-01	○E. Dupuy, K.A. Walker, J. Kar, Y. Kasai, P. Baron, and P.F. Bernath (NICT, U of Waterloo, U of Toronto, U of York)	Validation of Ozone measurements from the Atmospheric Chemistry Experiment (ACE)	50-51
P-02	○出牛真, 柴田清孝 (気象研), 眞木貴史 (気象庁)	成層圏・対流圏の化学-気候研究および大気汚染予測に向けた気象研究所化学気候モデルの構築	52
P-03	○長濱智生 <sup>1</sup> , 塩谷雅人 <sup>2</sup> 高柳昌弘 <sup>3</sup> (1名大STE研、2京大生存研、3JAXA), SMILESサイエンスチーム	JEM/SMILESの検証実験計画	53
P-04	○笠井康子、, P. Baron, J. Mendrok, E. Dupuy, 瀬田, 入交, Urban, Murtogh, 佐野琢己, 菊池, 西堀, 真鍋, 塩谷雅人, Wu, SMILESミッションチーム (情報通信研究機構、チャルマス大学、JAXA, 大阪府立大、京都大学、NASA/JPL)	JEM/SMILES観測データ解析アルゴリズム開発	54
P-05	○林寛生, 今井弘二, 高橋千賀子, 鈴木睦, 佐野琢己, 秋吉英治, 塩谷雅人 (JAXA、株式会社とめ研究所、環境研、京大)	JEM/SMILES L2データ処理に向けた大気微量成分の気候値について - 成層圏BrOの気候値とL2積算処理に関する検討-	55
P-06	○高橋千賀子, 鈴木睦, 林寛生, 岩田芳隆, 今井弘二, 高柳昌弘, SMILESミッションチーム (JAXA、富士通FIP、とめ研究所、NICT)	JEM/SMILES Level2データ処理システムの開発状況	56
<b>「廊下: 衛星開発、温室効果気体(観測)、温室効果気体(観測・モデル)」</b>			
P-07	○寺田良平, 水野亮, 長濱智生, 前澤裕之, 鳥山哲司, 児島康介, 桑原利尚、東岡宏明, 森平淳志 (名大STE研、ULVAC)	250GHz帯ミリ波大気組成観測装置の開発	57
P-08	○東岡宏明、水野亮、長濱智生、前澤裕之、桑原利尚 (名大)、森平淳志(ULVAC)、木村公洋、小川英夫 (大阪府大)、山岸久雄、堤雅基 (極地研)	南極昭和基地からの中層大気観測用小型ミリ波分光観測装置の光学系開発	58
P-09	○須藤洋志*1, 久世暁彦*1, 中島正勝*1, 浜崎敬*1, 横田達也*2, 井上元*3(*1 宇宙航空研究開発機構 *2 国立環境研究所 *3 総合地球環境学研究所)	GOSAT-TANSO用航空機搭載TSUKUBAモデル	59
P-10	○荒木光典, 町田敏暢, 森野勇, 内野修, 横田達也 (環境研), 澤庸介, 松枝秀和 (気象研)	つくば上空付近でのJAL航空機データを用いたXCO <sub>2</sub> の導出	60
P-11	○下山宏, 町田敏暢, 篠原梓, S. Maksyutov, M. Arshinov, D. Davydov, A. Fofonov, O. Krasnov, N. Fedoseev, B. Belan, 笹川基樹, 井上元 (北大低温研、環境研、地球・人間環境フォーラム、トムスク大気光学研、ヤクーツク永久凍土研、名古屋大)	シベリアにおける多地点タワーネットワーク観測から得られた二酸化炭素濃度変動	61

P-12	○笹川基樹, 下山宏, 町田敏暢, M. Arshinov, D. Davidov, A. Fofonov, and O. Krasnov (環境研, 2 北大学低温研, トムスク大気光学研)	シベリア域におけるタワーネットワークを用いたメタンの濃度変動	62
P-13	○石島健太郎, 豊田栄, 滝川雅之, 中澤高清, 森本真司, 吉川知里, 在原悟, 吉田尚弘 (FRCGC, 東工大院・総合理工、東北大院・理、極地研)	モデル計算による大気中N2O同位体時空間変動の推定	63
P-14	○在原悟, 石島健太郎, 吉川知里, 豊田栄, 滝川雅之, 吉田尚弘 (東工大院・総合理工、海洋研究開発機構)	成層圏N2Oアイソトポマー分布のモデル計算および観測結果との比較	64
P-15	○照沼陽子, 中澤高清, 青木周司 (東北大)	西部太平洋における大気中CO2とδ13Cの長期変動	65
<b>「小会議室: 気体(モデル利用)、気体(モデル開発)、温室効果気体(モデル)、気体(観測)、温室効果気体(分光観測)」</b>			
P-16	○須藤健悟, 秋元肇 (名大、FRCGC)	半球規模大気汚染のシミュレーション	66
P-17	○森野悠1, 近藤豊2, 大原利真1, 菅田誠治1, 竹川暢之2, 福田真人2 (1 国環研、2東大先端研)	3次元化学輸送モデルで計算された、夏季関東域におけるオゾン生成レジームの変化	67
P-18	○滝川雅之, 高橋正明, 秋元肇, 小林和彦 (FRCGC, 東大)	東アジア域における地表オゾンの小麦生産に及ぼす影響について	68
P-19	○和田晃, 村山昌平, 澤庸介, 松枝秀和, 近藤裕昭, 田口彰一, 坪井一寛 (気象大、産総研、気象研、気象庁)	南鳥島における大気中ラドンの観測と輸送過程の解析	69
P-20	○伊藤和貴, 眞木貴史, 藤田建, 池上雅明, 柴田清孝, 出牛真 (気象庁、気象研)	地上観測データを用いた気象研究所化学気候モデルの検証 -格子代表値作成時における品質管理-	70
P-21	○D. Belikov and S. Maksyutov (NIES)	Validation and application of flux version of NIES global atmospheric tracer model	71
P-22	○Heon-Sook Kim, D. Belikov, G. Inoue, and S. Maksyutov (NIES, RIHN)	Validation of seasonal CH4 flux inversion using NIES transport model	72
P-23	○西村八代 (総合研究大学院大学), 山内恭 (国立極地研究所)	昭和基地オゾンゾンデ観測における対流圏界面の比較	73
P-24	○H.A. Sikder, J. Suthawaree, S. Kato, and Y.Kajii (TMU)	Surface ozone and carbon monoxide observed at Oki, Japan : Comparison with previous results	74
P-25	○桜井秀宣, 福山薫 (三重大学大学院生物資源学研究所)	海洋における一酸化炭素と季節変動要因の考察	75
P-26	○後藤秀美, 村田功 (東北大), 中島英彰, 森野勇 (環境研)	地上赤外分光観測からのオゾン高度分布導出のための吸収線比較	76
P-27	○村田功 (東北大), 中島英彰, 森野勇 (環境研)	FTIRを用いたつばでの観測によるHCl、HF全量の経年変化	77
P-28	○柴崎登紀子, 野口克行, 伊藤春奈, 林田佐智子 (奈良女子大学)	OMIで観測されたNO2気柱量のパターンの変形について	78
P-29	○伊藤春奈, 野口克行, 柴崎登紀子, 林田佐智子 (奈良女子大学)	OMI観測による対流圏NO2気柱量と大気環境常時監視測定による地表NO2混合比の比較	79
P-30	○高島久洋, 入江仁士, 金谷有剛, 秋元肇 (JAMSTEC/FRCGC)	沖縄県辺戸岬における NO2 変動	80
P-31	○秋草直大, 枝村忠孝, 杉山厚志, 落合隆英, 藤田和上, 古田慎一, 菅博文 (浜松ホトニクス)	中赤外量子カスケードレーザによるガス微量分析の検討	81
P-32	○J. Pearce, 中山智喜, 松見豊, 高橋善幸, 柴田隆, 井上元, 檜山哲哉 (名大、JSPS、NIES、RIHN)	Measuring ambient carbon dioxide isotope ratios in realtime at Nagoya University with a quick-response laser spectroscopic instrument	82

P-33	○北村謙児, 山農大輔, 川崎昌博 (京大院工), 高橋けんし (京大次世代工), 井上元 (総合地球研)	大気中二酸化炭素同位体のリアルタイム計測器の評価	83
P-34	○村山昌平 (産総研), 松枝秀和 (気象研), 澤庸介 (気象研), 近藤裕昭 (産総研)	キャピティリングダウン分光法による多成分濃度分析装置の開発計画	84
P-35	○朝川貴司, 戸野倉賢一, 高橋けんし, 山農大輔, 坂本陽介, 川崎昌博 ((東大, 京大)	2ミクロン帯レーザーを用いたCO2その場計測法の開発	85
P-36	○横山正明, 吉岡宏哲, 美濃村満生, 伊吹紀男, 薮下彰啓, 川崎昌博, 井上元 (京大、総合地球環境研)	地球温暖化ガス計測装置の開発	86
<b>「ホワイエ: 気体(反応・装置開発)、エアロゾル(特性・組成)、反応、反応・装置開発、エアロゾル(装置)、エアロゾル(分布・特性)、VOCs」</b>			
P-37	○磯崎 輔, 今村隆史 (国立環境研)	LIF法を用いたCH3O+O2反応速度に対するH/D同位体効果の測定	87
P-38	○北和之, 友部正志, 森田陽一, 岡田和則, 大槻雅春, 小林寛行, 松見豊, 中山智喜, 高橋けんし, 戸野倉賢一 (茨城大, 霞ヶ浦環境科学センター, ダイレック, 名大学, 京大, 東大)	紫外LEDを使用したNO2光分解コンバーターの開発とLIF測定装置との比較観測	88
P-39	○萩野理恵, 中山智喜, 松見豊 (名大院理・STE研), 川崎昌博 (京大院工), 古林絵里子, 工藤玲, 山崎明宏, 内山明博 (気象研), 丸山智生, 原圭一郎, 白石浩一, 林政彦 (福岡大学)	2008年春季福岡におけるエアロゾル光学特性の集中観測	89
P-40	○木名瀬健, 北和之, 小川敬晴, 岩本達志, 近藤豊, 内山明博, 山崎明宏, 戸野倉賢一 (茨城大、東大学先端研、気象研、東大工)	PASSと従来法によるエアロゾル光吸収量の比較	90
P-41	○中山智喜, 松見豊 (名大院理・STE研), 山崎明宏, 内山明博 (気象研), 佐藤圭, 今村隆史 (国立環境研)	二次生成有機エアロゾルの光吸収特性に関する実験的研究	91
P-42	○宮崎雄三, 河村公隆, S.G. Aggarwal (北大低温研), P.K. Gupta (NPL)	インド都市部における水溶性有機エアロゾルの化学特性	92
P-43	○奥沢和浩, 河村公隆, S.G. Aggarwal, 金谷有剛, Z. Wang (北大低温研, 北大環境科学院, FRCGC, IAP)	中国泰山におけるエアロゾル中の有機炭素, 元素状炭素および無機イオンの濃度変動	93
P-44	○薮下彰啓, 衣川高志, 熊澤俊哉, 中山智喜, 松見豊, 松本淳, 川崎昌博 (京大院工、名大STE 研、首都大戦略研究センター)	沖縄辺戸岬におけるエアロゾル中の硝酸塩と主要化学種の関係	94
P-45	○坂本陽介, 山農大輔, 橋本訓, 川崎昌博 (京大院工), 高橋けんし (京大次世代ユニット), 中山智喜 (名大STE研), 戸野倉賢一, 宮野俊 (東大環安研セ)	対流圏におけるBrO+RO2ラジカル反応の速度論的研究	95
P-46	○高橋けんし, シンジャワ, M.D. Hurley, T.J. Wallington (京大, Ford)	植物から放出される不飽和アルコール類の対流圏反応	96
P-47	○シンジャワ, 高橋けんし, M.D. Hurley, T.J. Wallington (京大, Ford)	イソプレンの対流圏反応	97
P-48	○K. Miyazaki, A.E.. Parker, C. Fittschen, P.S. Monks, and Y. Kajii (TMU, U des Sci et Tech de Lille, U of Leicester)	化学増幅法を用いた選択的HO2,RO2ラジカル計測手法の開発	98
P-49	○岡崎創, 長田拓也, 中島吉弘, 加藤俊吾, 梶井克純 (首都大)	PTR-MSを用いた手法とレーザーを用いた手法によるOH反応性測定の比較	99

P-50	○木村嘉克, 中嶋吉弘, S. Jeeranut, 田島洋介, 宮崎洸治, 岡崎創, 山崎晃司, 長田拓也, 加藤俊吾, 梶井克純, 高田智至, 下紳郎, 窪田勉, R.O. Ramirez, 塩谷健二, 関口和彦, 坂本和彦 (首都大, 石油産業活性化センター, 埼大)	2008年東京郊外(首都大)におけるN2O5実大気測定	100
P-51	○廣川淳, 齋藤亮介, 真船文隆 (北大、東大)	化学イオン化質量分析計を用いた大気中亜硝酸濃度測定手法の開発	101
P-52	○廣川淳, 上野晶鋭, 加藤雄大, 真船文隆 (北大、東大)	濡れ壁反応管を用いた大気成分と液体との不均一反応の研究	102
P-53	相馬岳史, ○原野安土, 藤山裕希子 (群大)	海塩エアロゾルと酸性化学種の反応に関する研究	103
P-54	○竹谷文一, 金谷有剛, 秋元肇 (FRCGC/JAMSTEC)	HO2ラジカル不均一反応実験: 海塩粒子への取り込み係数の決定	104
P-55	○定永靖宗, 弓場彬江, 高見昭憲, 今林弘毅, 鈴木崇彦, 紀本英志, 紀本岳志, 武田裕司, 瀬良俊樹, 川上純一, 竹中規訓, 畠山史郎, 坂東博 (大阪府大, 環境研, 紀本電子工業(株), 東京農工大)	粒子状硝酸塩連続測定装置のキャラクタリゼーション	105
P-56	○竹川暢之, 宮川拓真, 近藤豊, 宮崎雄三, 韓盛喜 (東大先端研、北大低温研)	2006年夏季の中国観測におけるエアロゾル質量分析計の性能評価	106
P-57	○熊澤俊哉, 薮下彰啓, 中山智喜, 松見豊, 松本淳 (名大、京大、東工大)	大気エアロゾル単一粒子質量分析装置の開発	107
P-58	○鳥居和洋, 河村公隆 (北大院環境科学院, 北大低温研)	2008年春の沖縄・辺戸岬における有機エアロゾルの組成	108
P-59	○島田幸治郎, 高見昭憲, 加藤俊吾, 梶井克純, 畠山史郎 (東京農工大学、国立環境研、首都大学東京)	沖縄辺戸岬におけるEC、OCモニタリング	109
P-60	○弓場彬江, 濱名実, 定永靖宗, 瀬良俊樹, 高見明憲, 畠山史郎, 竹中規訓, 坂東博 (大阪府大院, 大阪府大工, 環境研, 東京農工大)	アジア大陸からの長距離輸送過程におけるNOy、ガス状硝酸、粒子状硝酸の濃度変動について	110
P-61	○G.A. Morris, J. Hirokawa, M. Fujiwara, F. Hasebe, K. Ishida, E. Celarier, N. Krotkov, M. Schoeberl, and W. Komhyr (Valparaiso U, Hokkaido U, NASA Goddard, En-Sci Corp)	A study of the impact of China's pollution on air quality in Japan before, during, and after the Olympics: Measurement program overview and preliminary data analysis	111
P-62	○小松原結人, 長田和雄, 飯田肇, 木戸瑞佳 (名古屋大学、立山カルデラ砂防博物館、富山県環境科学センター)	立山・室堂平における降水時のエアロゾル粒径分布の変化	112
P-63	○永尾一平 (名古屋大学・環境学)、岩本洋子 (東京大学・海洋研)、加藤俊吾 (首都大学東京・都市環境学、川名佳織 (東京大学・先端研)、植松光夫 (東京大学・海洋研)	夏季北部北太平洋の大気と海水の高濃度DMSについて	113
P-64	○長田拓也, 岡崎創, 加藤俊吾, 梶井克純, 石井康一郎 (首都大、東京都環境科学研究所)	夏季・冬季の東京都心部におけるVOC観測	114
P-65	○田島洋介, J. Suthawaree, 加藤俊吾, 梶井克純 (首都大)	首都大学東京における揮発性有機化合物の長期観測と変動要因の検討	115